



千葉大学ユニオンニュース第16号

2006年6月5日 編集・発行：千葉大学ユニオンニュース委員会

ホームページ：<http://www.age.cc/~cuu/> メールアドレス：cu_union@ybb.ne.jp

電話・ファックス：043-290-2234 ファックス専用：020-4666-6229

ユニオン事務室：総合校舎 G 号館 401 室

8日「非常勤職員の会」発足へ —要求は自ら掲げるものだけが実現させることができます—

千葉大学は多数の非常勤職員の献身的な労働によって支えられています

千葉大学の非常勤職員数は昨年10月1日現在でフルタイム職員（1週間の勤務時間が40時間の非常勤職員）が114名、パートタイム職員（1週間の勤務時間が35時間以内の非常勤職員）が253名（05.11.2.団交時理事回答）となっており、多くの非常勤職員の献身的な労働が千葉大学の業務を円滑に進めている1つの重要な原動力となっています。

千葉大学は非常勤職員の処遇の決定に当たっては常勤職員との均衡を考慮しなければなりません

千葉大学は「事業主が講ずべき短時間労働者の雇用管理の改善等のための措置に関する指針（職務が通常の労働者とほとんど同じ労働者の取り扱い）の一部改正（パートタイム労働指針の一部改正、2003年10月1日適用）」に基づいて、パートタイム職員の職務内容、意欲、能力、経験、成果などに応じて処遇することにより、均衡の確保を図るよう努めなければなりません。

千葉大学の非常勤職員に対する待遇はあまりに劣悪です

しかし、千葉大学は非常勤職員、特にパートタイム職員に対して、給与、期末手当・勤勉手当、夏休みなど常勤職員の処遇と不均衡な処遇で労働を強めています。

要求は自ら掲げるものだけが実現させることができます

したがって、非常勤職員の皆様は不均衡な処遇に対する何かしらの意見をお持ちだと思います。しかし、それらの改善に向けて当事者である非常勤職員の皆様自らが行動を起こし、要求を強く掲げなければ、千葉大学が真剣に均衡の確保に努めるということはないでしょう。

「非常勤職員の会」準備会を開催しました

そこで、常勤職員との均衡処遇にむけてユニオンは非常勤職員の皆様とともに行動を開始すべく準備をすすめてまいり、5月2日に非常勤職員問題会合、23

日に「非常勤職員の会」準備会を開催し、参加者はわずかではありましたが非常勤職員の皆様と意見を交換し、「非常勤職員の会」のあり方や進め方について検討しました。その結果、まずはできるところから、形式張らずに「ゆるやかな懇談会」として定例化し、お互いにざっくばらんに話せる場で不均衡処遇の改善に向けて意見を出し合い、また、それら情報を共有できる連絡網の整備を図っていくということになりました。

5.30 歓迎・交流会で学長は非常勤職員問題に理解を示されました

古在学長も出席され、盛会でありました5月30日の新入教職員歓迎・交流会において各団体の活動紹介では「非常勤職員の会」準備会の紹介も行いましたが、古在学長は、千葉大学で大事にされる順番の第1番目は学生であるが、教職員の中の第1番目は非常勤職員であり、現場でがんばっている人を最も大事にするとされました。そして、非常勤職員問題に係る改善策の1つとして非常勤職員の常勤職員化をさらに進めて、どんどん増やしていきたいと強調されました。また、「非常勤職員の会」が発足するならば大いに活動し、また、情報を知らしめて欲しいともされ、「非常勤職員の会」の発足と活動に理解と期待を示されました。

8日に「非常勤職員の会」が発足します

そこで、6月8日（木）の昼休みに総合校舎A号館2階小会議室にて、第1回目の「非常勤職員の会」を開催いたします。この会の趣旨にのっとり、ざっくばらんに非常勤職員の皆様の意見を交換し、何が問題になっているかの一端を明らかにし、改善へ向けての第一歩にしたいと考えております。

非常勤職員の皆様、お誘いあわせてお気軽にご参加下さい

**第1回「非常勤職員の会」開催
日時：6月8日（木）昼休み
会場：総合校舎A号館2階小会議室**

歓迎・交流会、おおいに盛り上がる

夏の陽気を思わせる一日となった5月30日の夕刻、生協第1食堂にて、千葉大学の newly 教職員歓迎・交流会が開催されました。この会は、新しく千葉大学の職場に来られた皆さんを歓迎し、学内での交流を広げるきっかけとなるよう願って企画されたものです。当日は、50名以上の参加を得て、本学非常勤講師の矢島道子さんによる「自然史・博物学の面白さ」についての講演、古在学長による歓迎と激励のお話を受けて始まりました。好天のためビールも進む中、千葉大生協、走友会、フラワーアレンジメン

トの会、非常勤職員の会（準）、留学生支援の会、教職員テニスサークルなどから次々と活動の紹介があり、盛りだくさんの内容となりました。こうした企画は今回が初めてでしたが、教職員の交流が広がり、より働き甲斐のある職場づくりの第一歩となればと願っています。ご協力いただいたすべての皆様に、心より御礼を申し上げますとともに、今後の機会に多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

(文責 H・M)

スナップ写真の一部を下に貼り付けましたが、カラー版はホームページをご覧ください。



歓迎・交流会の様子（1）



歓迎・交流会の様子（2）



歓迎・交流会の様子（3）



歓迎・交流会の様子（4）

ジャワ島中部地震被災地救援にご協力を

千葉大学では少なくない数のインドネシアからの留学生、研究者が日々勉学研究に励んでおられます。今回の地震に対して、千葉大学は環境リモセンのヨサファット先生を現地に派遣するとともに対策本部（連絡先：企画総務部国際課）を発足させました。今後、対策本部からの要請がメール等で各教職員に送られると思います。是非、積極的に要請に応じて救援行動に参加して下さいますようお願い致します。ユニオンとしても全力で取り組みます。

【ユニオン委員長 田中健夫】

千葉大学ユニオン

メールアドレス：cu_union@ybb.ne.jp ホームページ：http://www.age.cc/~cuu/

TEL&FAX:043-290-2234 FAX専用:020-4666-6229

ユニオン事務室：総合校舎G号館401号

郵便物のあて先は〒263-8522 千葉大学総合校舎G号館401号です。